

学習障害と ジョイス・イノウエ この世のウンと ホームスクーリング 聖書的な対応のポイント

訳：桑谷美穂 監訳：稲葉寛夫

学習障害が 許される理由

私たちは、学び、教育を授かる者として神さまの手で創られました。おそらく、神さまは心のすべての領域に、「神さまを知りたいと切望する思い」を与えたため、日々のすべての生活を通して、意識・無意識に関わらず、神さまを見出そうとしているのだと思います。でも、私たちはしばしば不思議に思います。教育が神にとっても重要であるならば、なぜ、神さまは学習障害を許されたので

プロフィール

クリスチャン教育セラピー代表。白馬セミナー、主講師。学習障害、特別学習教育の専門家として35年。3人の子どもを育て、2人の子どもたちの聴覚・視覚等の情報処理の困難等を診断、訓練、克服し、大学卒業、ミニストリーへと羽ばたかせる。カリフォルニア州立大学院LA校特別支援教育修士課程卒。アズサ・パシフィック大、プレズノバシフィック大、チャ・カリフォルニア等で、特別講師。ACSI加盟クリスチャンスクール400校余りをネットする、学習障害サポート機関等も設立。

しょうか。この難しい質問に答えるには、すでに皆さんが知っていることが役立ちます。

1つは、神さまは最高のお方であり、全てを司っておられること。2つめは、神さまは決して失敗しない方であること。そして3つめが、エレミヤ29:11にあるように、神さまは1人1人に良い計画をお持ちで、それは将来と希望を与えるためだということです。

私たちの心のまなざしは、雲の上に高く飛んで、天国からの素晴らしい視点をいただく必要があるかもしれません。使徒パウロは、神さまの力と栄光を現すために、神さまはあえて私たちが弱くあることを許すと述べました。「主は、「わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうち完全に現れるからである」と言われたのです」(第二コリント12:9)。

弱い時に強くされる

すべての人が強さと同時に弱さを持っています。しかし、私たちは弱く、傷つきやすく、無力となる時に、私たちが助けられるものに頼るようになり、ポジ



タイプかネガティブか、どちらかとなるのです。私たちが主に頼る時こそ、私たちは主の力と強さを体験します。神さまには限界がないことを理解し、試練を乗り越えられます。この事実を癒しであり、権威ある真実です。

絶望というウン

「絶望というウン」(参照：箴言13:12)から離れることができるように！
神さまの主権は、学習面での困難や障害を含め、すべてをおおつのです。私たちは自分が何をしたとか、どのように学んだかということ自分で形成するのではなく、神さまがどういう方であるか、また、何を成し遂げられたかで形成されます。

私たちは「できる」のです。なぜなら、キリ

ストが私たちを通して「成して下さる」からです。こうした過程を通る中で、忍耐強さ、別の方法を模索する創造力、そして試練の中における人格的成長が与えられていきます。

頭で分かっている、受ける痛み

しかし、実際に、子どもたちが傷ついているのを見ると、時々、私たちは、そうした神さまの視点や真理から見ることができなくなり。そうした傷ついた、たくさんクリスチャンの親たちと出会うことができました。せうかくホームスクーリングをされているのに、止めようと思われたりする方も出ます。

子どもが学習障害を持っているとするなら、苦闘しながら勉強する子どもの姿に親は傷つきます。そして、たやすく苦い思いを抱き、失望してしまつのです。「神さま、どうして私の子どもに、こんな障害があるのでしょうか。私にどうやって助けることができますか。将来的にも、どうしたらいいのか、全く分かりません」。もちろん、子どもが「万端でミスの無い神さまに、素晴らしく創られて

いる」ことは頭では理解していますが、私たちの感情はかき乱され、疲れ、押しつぶされ、落胆してしまつのです。

ホームスクーリングが効果をもたらず理由

けれども、私たち親があきらめず、神さまを見上げて、愛と犠牲を注ぎ、神さまにあるホームスクーリングを継続していく中で、神さまは「天国の手法」という癒しの業を推し進めて下さいます。何より、子どもが、真実ではない、この世の価値観に同意し、自分にレッテル張りをしてしまつ、害悪をもたらず状況から助け続けることが、最も効果的にできるのですから。

エレミヤ1:5はこう言います。「わたしは、あなたを胎内に形作る前から、あなたを知り」。神さまはご自分がなさっていることを確かに承知しています！ 神さまが主権者であるゆえに、皆さんの子どもは、障害があろうと無かろうと、神さまの計画の上にある完全な存在です。それだけでなく、神さまは続けて語られます。「あなたを聖別し、あなたを国々への預言者と定めていた」。

皆さんがホームスクーリングをしていくなら、それはお子さんが受けられる、どんな教育よりも優れています。子どもたちは、神の希望と約束を学ぶでしょう。誰よりも、自分のことを知り、自分のために犠牲を払ってくれる、皆さんが教えてくれるのですから。また、神さまがどのように世に打ち勝ち、ご自身の創造物にどれほど崇高な計画をお持ちか、見ることができるよう。そして、子どもたちは真実に根差し、真実と本当に必要なことによつて形作られていきます。

自分の子どもに困難が与えられて

私はクリスチャンになる前の独身時代に、学習障害者に教える学びと訓練を受け、学習障害に関する、いわゆる専門家となりました。25才の時に主を救い主として受け入れ、学習障害へのアプローチも変えられていきました。

結婚したのは28才の時(ちょうど今年で結婚28周年です)、30才で長男のギヤレットを授かりました。32才の時に次男のダレンが誕生。主の力強い御手

のおかげで、3番目のクリスティンも生まれ、私は3人の尊い子どもたちに囲まれる恵みにあずかりました。

子どもたちが小学校に入学した頃、私は3人の子どものうち2人に、「隠れた情報処理の困難」があると見出し、診断することができました。この障害は神経障害による学習障害とも違い、目立たず、医学的にも分析しにくいのですが、確かに情報の処理の過程において虚弱な要素があるのです。長男のギャレットは視覚的な処理における困難を持っていました。つまり、実際の光景は見えるのですが、見たものを脳で処理するうえで弱点があるのです。次男のダレンは、小学校の初年度で視覚的処理の欠損と、聴覚処理の欠損が見つかり、学校での勉強にも影響を及ぼしていました。我が子に困難があつたため、私も体験し、分かるようになりました。子どもが勉強がうまくいかず、傷つき、苦勞する姿に接した時の、母親の心の痛みが、これだけ、深いかを。また、子どもたちが自分は無能だと感じ、学校生活で彼らが渴ぎ、痛みきつている状態を見て、親として「彼らを助けたい」と心を煩わす気持ちもよく分かります。そのような

日々は、私にとって、辛い日々でした。私は、学習障害を専門としているのに、簡単に解決しない……という苦しい日々です。長年に亘つて我が子を助け、訓練していった後で、私が神さまに示されたことは、自分の子どもにも困難がある家族を支え、助けていく上で、このことはとても大事だつたといつことです。特に、知識を超えて、深く理解する上で。

困難を抱えた子どもたちと歩むことは、簡単なことではありませんでした。でも豊かな経験でした。皆さんに希望をもたらすため、私の経験を分かち合いますね。2人の息子たちは、後にアメリカのトップランクの大学を卒業しました。ギャレットはウエストモント大学、ダレンはアートセンターカレッジ・オブデザインの卒業です。2人とも高校を名誉ある成績で卒業し、何より、自分の人生における神さまの召しを見つけて今、順調に、その道の努力を重ねています。ギャレットは今回、白馬に同行するかもしれません。彼は日本に在る長期宣教師として、この秋、日本に向かったところです。ダレンは神さまから与えられた芸術の賜物をもつて、世に影響を与えようと、特に映像を通して神に

栄光を帰す道を歩み出しています。娘はカリフォルニア・ロングビーチ州立大学で学んでいて、最終的には、学習障害の人々を助け、教えるという私の実践してきたミニストリーを引き継ごうとしています。夫のリチャードと私は、本当に祝福されています。

増え広がるウン

「他とは違う、ユニークな学習方法のニーズのある子どもたち」には希望がない、そんな増え広がるウンと、私たちが親は戦っています。この戦場は世界規模で広がっています。神さまは、神としての主権と最高の計画、方法で、私たちの全ての子どもたちにユニークな賜物を与え、力も弱さも備えてくれています。それは、神さまに栄光をお返しするという崇高で最高の目的のためです。この神さまの目的は、子どもたち本人の必要を満たすためだけでなく、両親あるいはホームスクーリングを手助けする先生、家族、親戚、地域社会、そして、まだ出会っていない、地の果てにいる人々をも助けるためのものです。神さまは子どもたちの学習面での勝利と失敗を用いま

す。神さまが私たちに望んでおられることは、私たちが「最悪」と定義つけてしまつ「視点」の存在を、捨て去り、「神のまなざし」を育み、傷が癒され、回復することです。

神さまの計画 ——希望と約束

その意味でも、ホームスクーリングは、神さまが与えてくれた素晴らしい機会であり、真理、光、そして、いのちを子どもたちに与えます。私は、特に近年、そのことに気づいてきました。障害のあるなしに関係なく、汚れたウンの数々の支配から、彼らを守る必要があります。そのために、ホームスクーリングの効果は大きいのです。ホームスクーリングを通して、皆さんの日々の実践と模範、犠牲、愛情をもつて、朝も昼も夜も皆さんの心と思いを深く伝えられるからです。ホームスクーリングを通して、神さまのまなざしを養い、神さまの主権や、ご計画、実践の方法を身につけさせることを主軸に展開できるのです。特に、障害のある子どもたちに関していえば、それこそ、まさに、必要なのです。